

近畿学校保健学会通信

№ 23

昭和48年5月21日

第20回近畿学校保健学会事務局

(〒632) 奈良県天理市田井庄町80

天理大学体育学部

TEL (07436) ② 3076

振替口座番号 大阪312192

第20回近畿学校保健学会開催にあたって

第20回近畿学校保健学会会長

天理大学教授

橘 重 美

今回、第20回近畿学校保健学会を奈良県で担当し、はからずも私が学会長として学会開催のお世話をさせて頂くことになりました。もとより浅学で、歴史と伝統に輝くこの学会を開催するにはあまりに無力で大きな負担を感じておりますが、今迄同様、学校保健関係の多くの諸先輩ならびに会員みなさんの御指導と御協力を得て意義ある学会にしたいと思ひます。よろしく御支援賜りますようお願い致します。

近畿学校保健学会も回を重ねてこのたびで20回を迎えることになりました。幾多の難問題をかえながら、学校保健によせる限りない情熱と期待のもとでこの学会を育てあげてこられました諸先輩のかたがたにあらためて敬意を表し感謝したいと思います。

激変と流動が予測される未来社会に生きるために、今ほど人間の健康が真剣に考えなおされなければならない時はありません。学校保健百年の歴史に想いをよせ、これからの学校保健の重要性を痛感します。

学校保健の本質、即ち「教育としての健康教育」を明確にし、人間形成のための学校保健をより充実し、その中に生命尊重の中心理念が貫き通されなければなりません。

学校保健は現場のものである立場から、今学会では、「これからの養護教諭」を主題としてとりあげ、シンポジウムではこれからの養護教諭を、また特別講演では養護教諭とともに半世紀を歩まれた竹村一博士にこの問題についてお願いすることになり、御快諾を頂いています。この学会を通じて学校保健の本質を浮きぼりにするとともに、養護教諭の問題把握に資したいと考えております。できるだけ現場の先生に多く参加を期待し、大学関係者、学校医とともに相たづさえて討議を深め

たいと思います。

今学会が、明日の学校保健前進のためにその道を照らす灯ともなればと祈念します。

第 20 回近畿学校保健学会開催要項

1. 会 長 橋 重美 (天理大学教授)
2. 事 務 局 天理大学体育学部健康教育教室 (事務局長 森本 稔)
3. 開催期日 昭和 48 年 9 月 8 日 (土)
4. 会 場 奈良県農協会館
奈良市大森町 57-3 (国鉄奈良駅下車徒歩約 5 分)
5. 日 程 受 付 9:15~9:45 (AM)
一 般 口 演 9:45~10:40 (PM)
特別講演およびシンポジウム 1:45~4:30 (PM)
(昼食時に評議員会開催の予定)
6. そ の 他
 - ・一般口演は、演題申込要項により申込んで下さい。
 - ・シンポジウムは、“養護教諭”について行なう予定です。

第19回近畿学校保健学会を終えて

大阪教育大学教授 上 林 久 雄

最近、健康問題に関する記事やニュースが新聞紙上をにぎわすようになってきましたが、このことは、わが国の急激な社会変化のもたらした一つの現われであり、それとともに、国民一人一人が、健康について関心をもつようになってきたと考えられます。

ところで、＜健康＞という意味や概念について、わが国では、とかく描象的、理論的にとらえられている傾向にありますが、欧米、とくに英国では古くより、＜健康＞は＜保健活動＞をさすことが慣例化されており、今日では、＜健康＞という意味は、生活環境の充実、教育活動、医療サービス等を総合した＜総合保健活動＞であるとされています。

このように＜健康＞の意味をとらえますと、学校保健の目的とする＜健康＞ということは、たんなる理くつではなしに、＜保健活動＞そのものでなくてはならないと考えます。

近畿学校保健学会は、発足以来、「教育現場の保健活動と大学等の研究機関との連けい」を緊密にして活動をつづけてきましたが、上に述べた意味で考えると、他の学会と異ったユニークな面をもつ学会であると思います。

昨年、第19回近畿学校保健学会もこのような方向で大阪で開催させて頂き、猛暑の中を多数の先生方の御参加を得て、熱心に討議して頂いたことを深く感謝しております。本年は、学会発足20周年にふさわしく、古都平城の都で、学会発足以来、学会の発展に御尽力を賜った天理大学の橘重美教授を会長にいただき、第20回近畿学校保健学会が開催されることになりました。昨年末に、保健教育審議会より出された「学校保健の充実」についての答申にもありますように、学校保健も時代とともに、刻々と変化しつつあります。新しい学校保健をめざして、先生方と学会の一日をゆっくり勉強できることを心より期待しています。

第 19 回近畿学校保健学会決算報告

収 入 の 部	金 額	支 出 の 部	金 額
(1) 会 費		(1) 印 刷 費	186,785円
一般会費 700円×165名	115,000円	(学会通信、講演集他)	
学生会員 400円×7名	2,800	(2) 謝 金	81,750
評 議 員 1,000円×61名	61,000	(講師、学生アルバイト他)	
(2) 広告料および展示料	125,000	(3) 会 議 費	49,540
(3) 寄 附 金	50,056	(幹事会、評議員会他)	
(4) 前期学会、繰越金	23,189	(4) 会 場、設 営 費	22,880
		(茶 代、そ の 他)	
		(5) 事 務 経 費	33,270
		(通 信、連 絡 費)	
		(6) 雑 費	2,820
		(文具、リボンその他)	
	377,045円		377,045円

以上の通り相違ありません。

第19回近畿学校保健学会会長 上 林 久 雄

事務局記事

- 第1回幹事会 5月11日 於奈良県教育委員会室
 - 事務局および幹事の承認（別掲の通り）
 - 総会開催の期日、場所、プログラム構成等について協議を行ない、日程および企画を決定した。（別掲の通り）

第20回近畿学校保健学会幹事名簿（昭和48年5月15日現在）

安 藤 格(大 阪 教 育 大)	今 井 英 夫(大 阪 教 育 大)
石 神 美代子(奈 良 県 養 護 部 会)	宇 野 菊三郎(大 阪 市 学 校 保 健 会)
浦久保 繁(奈 良 県 教 委)	緒 方 準 一(奈 良 県 保 健 会)
奥 田 芳 雄(奈 良 県 校 長 会)	小野川 幸 代(奈 良 県 養 護 部 会)
片 岡 慶 有(滋 賀 県 医 師 会)	上 林 久 雄(大 阪 教 育 大)
川 口 修(和歌山県中学校長会)	川 口 宏(和 歌 山 教 委)
笠 松 勇 次(和 歌 山 大)	唐 沢 友 江(奈 良 県 養 護 部 会)
木 村 一 雄(奈 良 県 校 長 会)	北 喜八郎(奈 良 県 健 康 教 育 会)
喜多村 勝(奈 良 県 歯 科 医 師 会)	小久保 昇 治(大 阪 府 教 委)
合 田 梅 野(大 阪 府 養 護 部 会)	佐 守 信 男(神 戸 大)
佐 藤 良 雄(奈 良 県 教 委)	佐々木 貫 也(奈 良 県 教 委)
佐味谷 峰 子(奈 良 県 養 護 部 会)	武 田 真太郎(和 歌 山 医 大)
辰 己 良 雄(奈 良 県 教 委)	寺 岡 政 代(大阪府私立学校養護部会)
戸 田 嘉 秋(神 戸 大)	永 井 豊太郎(天 理 大)
中牟田 正 幸(奈 良 教 育 大)	中 川 彦 男(奈 良 県 教 委)
西 田 義 文(京 都 市 学 校 医 会)	西 村 昌 江(兵 庫 県 教 委)
馬 場 春 代(奈 良 県 養 護 部 会)	平 井 五兵衛(奈 良 県 薬 剤 師 会)
平 井 健 三(奈 良 県 学 校 保 健 主 事 会)	細 井 毅(滋 賀 大)
細 部 新一郎(大 阪 市 薬 剤 師 会)	円 山 一 郎(大 阪 教 育 大)
松 田 秀 徳(奈 良 県 校 長 会)	宮 田 尚 之(京 都 大)
森 村 文 治(奈 良 県 医 師 会)	山 岡 誠 一(京 都 教 育 大)
山 田 一(滋 賀 大)	安 田 慶 二(日 本 学 校 医 会)
米 田 幸 雄(京 都 教 育 大)	米 本 三 治(奈 良 県 歯 科 医 師 会)

第20回近畿学校保健学会演題申込要項

1. 方針

学校保健の立場に立脚し、具体的な資料と科学的分析にもとづいた研究結果を希望します。

1) 描象的な希望意見、独断的、政治的発言又は単に発表のための発表というような演題は遠慮して下さい。

2) 応募演題の多い場合は、演題申込時の演説要旨により口演演題を採択する予定です。

3) 口演演題は約30題です。

2. 演題申込

1) 演題申込資格

近畿地区に在住又は勤務先のある方で学校保健に関心のあるあらゆる分野からの申込みを希望します。

2) 演題申込方法

a 演題申込は①所定の申込書（綴込みの用紙）に所要事項を洩れなく記入し、

②400字詰横書原稿用紙1枚の演説要旨をそえて申込んで下さい。

b 口演者数の制限などの理由により誌上発表を希望される場合は要旨にその旨を朱書して下さい。

3) 演題締切日

昭和48年6月30日（事務局必着）

4) 演題申込者には折返し講演集作成のため、所定原稿用紙と記載要領を送ります。

3. 口演又は誌上発表の抄録

演題申込により口演又は誌上発表に採択された方は7月30日までに抄録を提出し

て下さい。期限までに抄録の提出がなかった場合は棄権として扱います。

4. 一般口演

1) 口演時間

① 討議を含めて1題10分（発表8分、討論2分）とします。

② 指定時間終了2分前に青灯を点じます。

③ 指定時間終了と同時に赤灯を点じ終了のブザーがなります。

④ 口演時間超過の場合はただちに座長が中止を指示します。

⑤ 時間の都合により数題をまとめて一括討議を行なうことがあります。

2) 配布資料等

① 規格はB5版横書きにし（特別の場合を除き）表紙又は資料の最初の頁の上部に演題番号、演題、氏名を明記して下さい。

② 部数は400部用意して下さい。

③ 誌上発表は発表資料をもってこれにかえさせていただきますので、発表資料400部を用意して下さい。

3) 資料の提出

プリントなどの資料は、会場受付に提出して下さい。

なお、抄録は印刷の都合上後日の訂正は受けません。

4) スライドの使用は出来ません。又掛図表の使用もお断りします。

演 題 番 号	演 題 名 (1 題 1 枚)
事務局記載欄	発表者氏名、所属、職種、資格 (演者は○印)
	連絡先住所氏名 〒 TEL (裏面必読)
(切 取 線)	
演 題 番 号	演 題 名 (1 題 1 枚)
事務局記載欄	発表者氏名、所属、職種、資格 (演者は○印)
	連絡先住所氏名 〒 TEL (裏面必読)
(切 取 線)	
演 題 番 号	演 題 名 (1 題 1 枚)
事務局記載欄	発表者氏名、所属、職種、資格 (演者は○印)
	連絡先住所氏名 〒 TEL (裏面必読)

この部分に糊づけして演題1題毎に要旨原稿の上縁にはりつけて下さい。

- (注意)
1. 演題申込要項を熟読の上記入して下さい。
 2. 要旨はB5判原稿用紙(横書20×20)1枚に納めて下さい。
 3. 職種、資格は学会の今後の運営に資するため、具体的に必ず記入して下さい。
 4. この用紙が不足の場合は同じ様式のものを作って用いて下さい。
-

送り先 奈良県天理市田井庄町80 天理大学体育学部内
第20回近畿学校保健学会事務局

この部分に糊づけして演題1題毎に要旨原稿の上縁にはりつけて下さい。

- (注意)
1. 演題申込要項を熟読の上記入して下さい。
 2. 要旨はB5判原稿用紙(横書20×20)1枚に納めて下さい。
 3. 職種、資格は学会の今後の運営に資するため、具体的に必ず記入して下さい。
 4. この用紙が不足の場合は同じ様式のものを作って用いて下さい。
-

送り先 奈良県天理市田井庄町80 天理大学体育学部内
第20回近畿学校保健学会事務局

この部分に糊づけして演題1題毎に要旨原稿の上縁にはりつけて下さい。

- (注意)
1. 演題申込要項を熟読の上記入して下さい。
 2. 要旨はB5判原稿用紙(横書20×20)1枚に納めること。
 3. 職種、資格は学会の今後の運営に資するため、具体的に必ず記入して下さい。
 4. この用紙が不足の場合は同じ様式のものを作って用いて下さい。
-

送り先 奈良県天理市田井庄町80 天理大学体育学部内
第20回近畿学校保健学会事務局